

授業科目名 (英文名)	科学英語	科目区分 対象学生	
単位数	2.0	開講年次・ 学期	4年次・前期
担当教員	川瀬 毅 高田 忠雄 菊池 丈幸 山本 拓司	所属	応用化学工学科
オフィス・場所		連絡先	
講義目的及び到達目標	グローバル化が進む中、英語力がますます重要になってきています。ここでは各コースで多用する言語を習得するとともに、各研究室で用いるターミノロジーを覚えるために、英語原著の論文や専門参考書を読みこめて英語力アップを目標とする。		
講義内容・授業計画	<p>応用化学工学科の各コース、各研究室での科学技術に関する英語論文や英語の教科書を教材とする。各研究室で学生本人の研究に関係する雑誌を探し、発表を行い、教員を交えて自由活発な発言を通して論文の内容を理解する訓練をおこなう。その際、論文の著者が最も強調したいこと、あるいは実験方法、実験結果のまとめかたを学ぶことで、英語論文の書き方を習得する。実質的には1年間の授業である。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス 2. 科学技術によく使われる用語を身につけさせる。 3. 各研究室で最低限必要なターミノロジーを覚えさせる。 4. 発表の仕方についての指導を行う。 5. 図表で著者が強調したいことを明確に捉える訓練を行う。 6. 翻訳する際、適切な日本語を考え、正しい日本語で発表を行わせる。 7. 国際会議等での英語発表能力を滋養する。 8. 学生自身の研究に関する知識だけでなく、指導者の異なる違った分野で使う英単語について の理解をさせる。 		
テキスト	英語原著論文、英語で書かれた参考書、教科書などを用いる。なお、英語で書かれた原著論文は学生各自で探することを基本とし、検索能力を高めさせる。		
参考文献			
成績評価の基準・方法	発表する論文内容が自分の研究に適合しているのか、論文要点のとらえ方、発表に必要な基礎知識の有無、予習を十分しているか、などから評価する。		
履修上の注意・履修要件	この科目は卒業研究に従事するものだけが履修できる。卒業研究許可者であっても、雑誌会に出て来ない学生は不可とする。		
実践的教育	該当しない		
備考			